

インバウンドの「変化の兆し」をいち早く
都道府県別訪日外客数と訪問率
月次指標の早期推計：3月レポート(更新版)

稲田義久 (APIR 研究統括兼数量経済分析センター長)
松林洋一 (APIR 主席研究員)
野村亮輔 (研究推進部)
内容に関するお問い合わせは下記まで
e-mail:nomura-r@apir.or.jp

ポイント

● 3月都道府県別訪日外客数と訪問率の早期推計*

▶ 3月の関西 2府 8県別に訪日外客数(推計値)をみると

(表1及び図1)、福井県 302人(前年同月比-94.5%)、三重県 1,514人(同-90.9%)、滋賀県 1,541人(同-90.7%)、京都府 5万 2,937人(同-91.7%)、大阪府 7万 4,602人(同-92.3%)、兵庫県 1万 2,529人(同-91.9%)、奈良県 2万 3,678人(同-90.3%)、和歌山県 2,188人(同-88.7%)、鳥取県 874人(同-93.7%)、徳島県 577人(同-89.5%)となった。先月に引き続き訪日外客の大幅減少により、各府県で大幅な落ち込みがみられている。

▶ 3月を運輸局別にみると(表1)、北海道 1万 7,237人、関東 10万 2,741人、中部 2万 3,939人、近畿 7万 9,876人、九州 1万 9,441人となった。

▶ 3月の訪問率(推計値)を関西 2府 8県別にみると(表2及び図6)、福井県 0.2%、三重県 0.8%、滋賀県 0.8%、京都府 27.3%、大阪府 38.5%、兵庫県 6.5%、奈良県 12.2%、和歌山県 1.1%、鳥取県 0.5%、徳島県 0.3%となった。前月から訪問率が上昇したのは大阪府、奈良県、鳥取県、一方低下したのは福井県、三重県、滋賀県、京都府、兵庫県、和歌山県、徳島県であった。なお、10-12月期訪問率の確報値を反映して月次訪問率を推計した。

● 3月発表データのレビュー

▶ JNTO 訪日外客数推計値(表3及び図7)によれば、3月総数は 19万 3,700人と前年同月比-93.0%大幅減少し、6カ月連続のマイナス。各国で新型コロナウイルス(以下、COVID-19)による渡航制限や外出禁止などが大きく影響。

▶ 国・地域別にトップ5をみると、東アジアの訪問客の大幅減により、**ランキングが大きく変化**。米国が 2万 3,000人(前年同月比-87.0%)。ベトナム 2万 800人(同-56.6%)、韓国 1万 6,700人(同-97.1%)、フィリピン 1万 900人(同-77.4%)、中国 1万 400人(同-98.5%)と続く。

▶ 東アジアの伸び率をみると中国、台湾、香港は2カ月連続、韓国は9カ月連続のマイナス。COVID-19拡大により東アジアを中心に2月を上回る減少幅となった。来月以降も大幅減少が続くと予想されていることから、一層厳しい状況が続くこととなる。

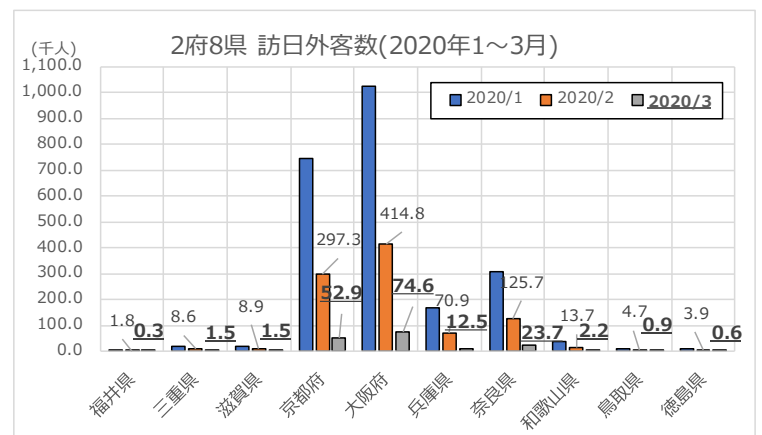
表1 都道府県別訪日外客数の早期推計表

■府県ベース	訪日外客数				
	2020/1	2020/2	2020/3	19Q4	20Q1
福井県	4,967	1,831	302	14,928	7,099
三重県	21,354	8,643	1,514	59,714	31,510
滋賀県	21,769	8,862	1,541	59,714	32,172
京都府	747,482	297,270	52,937	2,142,234	1,097,689
大阪府	1,023,342	414,766	74,602	2,911,049	1,512,710
兵庫県	170,385	70,899	12,529	455,318	253,813
奈良県	308,038	125,727	23,678	903,172	457,442
和歌山県	37,451	13,741	2,188	104,499	53,381
鳥取県	11,057	4,712	874	29,857	16,643
徳島県	10,990	3,944	577	29,857	15,511

■運輸局ベース	訪日外客数				
	2020/1	2020/2	2020/3	19Q4	20Q1
北海道	181,730	83,681	17,237	500,103	282,648
関東	1,429,907	580,605	102,741	4,015,755	2,113,254
中部	349,572	137,418	23,939	1,030,064	510,930
近畿	1,114,344	449,577	79,876	3,157,369	1,643,797
九州	250,058	105,823	19,441	671,781	375,321

注:全目的(観光・レジャー目的以外も含む)の訪問率をもとに訪日外客数を推計している。なお、地方単位(運輸局ベース)で推計される訪問率と訪問者数は、地方内の複数訪問を1回とカウントしているため、都道府県の訪問者数を単純に合算した値とは異なることに注意。シャドウは実績値。

図1 都道府県別訪日外客数の3カ月比較図



注:数値は最新月の予測値。

* 早期推計は以下の手順で行われている。まず、四半期ベースの都道府県訪問率を月次化し、それを用いて時系列モデルを推計、その6カ月予測を行う。これに訪日外客数(JNTO)を乗じて、月次ベースの訪日外客数を推計している。訪問率の実績値が発表されるまでは、このルーティンが繰り返される。本手法は当研究所の日本経済月次予測で用いている超短期予測のアイデアを応用しており、詳細な推計方法については Trend Watch No.54(2019年5月)参照のこと。

トピックス

●3月関西国際空港：訪日外客数の動向

▶3月の関西国際空港(以下、関空)への訪日外客数は、3万5,920人で比較可能な2007年以降で過去最低の水準。伸びは前年同月比-95.1%大幅減少し、前月の同-66.0%に続き大幅マイナスとなった(図2及び図5)。COVID-19の感染拡大による世界的な移動制限が影響した。外務省は3月25日に全世界を対象に渡航レベルを史上初のレベル2(不要不急の渡航自粛)に引き上げたが、31日には49か国・地域に対しレベル3(渡航中止勧告)にまで引き上げている。しばらく高水準のアラートが続こう。

●経済ショックからの回復の比較

▶関西3月の貿易動向を見ると、COVID-19による世界経済減速の影響が輸出入ともにみられた(図3)。輸出額は前年同月比-5.3%減少し、2カ月ぶりのマイナスに転じた(前月:同+0.8%)。輸入額は同-4.2%減少し6カ月連続のマイナスだが、減少幅は前月(同-17.5%)から縮小。結果、関西の貿易収支は2カ月連続の黒字だが、貿易総額(輸出入合計)は昨年9月を除けば15カ月連続で縮小している。

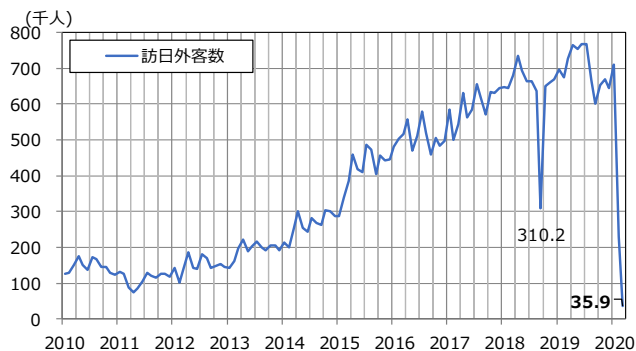
▶地域別の貿易動向をみると(図4)、関西3月の対中輸出額は前年同月比-0.2%小幅減少し2カ月ぶりのマイナス。輸入額は同-1.0%減少し6カ月連続のマイナスとなった。輸入の減少幅は前月(同-55.6%)から大幅に縮小した。

▶3月の関空への訪日外客数は前年同月比-95.1%大幅減少し、2カ月連続のマイナス。2019年の関西での外国人消費額は1兆610億円と推計(APIR)されることから、3月のインバウンド需要の損失額は840.5億円(=10,610/12×0.951)と推計される。2月の損失額は583.9億円であるから、2-3月損失合計は1,424.4億円となる。なお、4月も3月と同程度の減少幅が続けば、4-6月期の損失合計は2,519.9億円に増加する。

▶関空訪日外客入国者数の動態をリーマンショック期、東日本大震災期と今回の3つの時期で比較してみよう(図5)。2月に続いて3月の落ち込みも大幅であった。今回の場合は、リーマンショックや東日本大震災のケースと異なる回復パターンとなろう。95%減の水準が最低3カ月続き、以降徐々に回復するパターンを想定するが、完全な回復には1年以上となろう。

本レポートでは、4月20日に発表された3月の貿易統計を反映した。

図2 関西国際空港 訪日外客入国者数推移



出所:KANSAI 空港レビュー及び大阪入国管理局関西空港支局より筆者作成。
2020年3月値は速報値(図5も同様)。

図3 関西 対世界貿易の推移

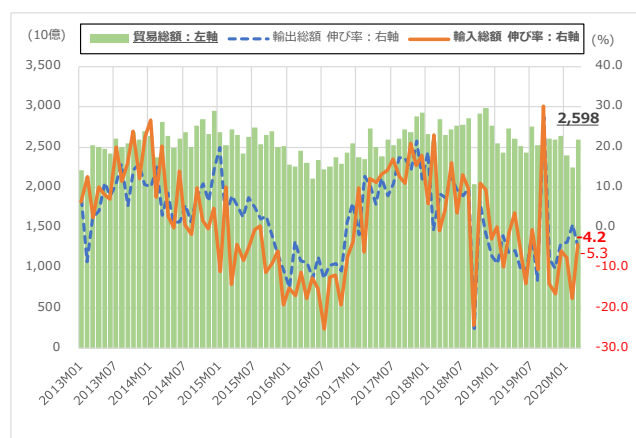
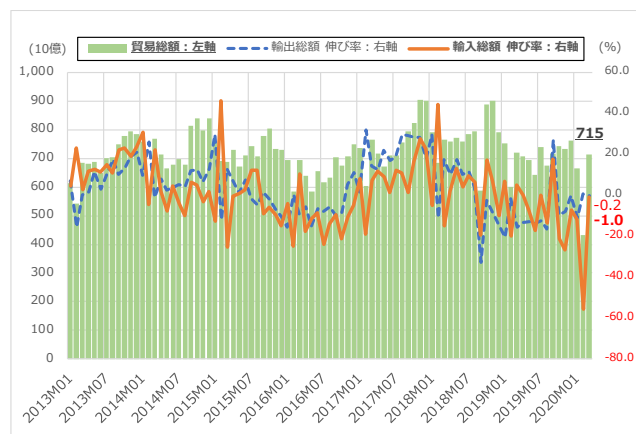


図4 関西 対中貿易の推移



出所:「大阪税関貿易速報資料:近畿圏」より筆者作成

図5 経済ショックからの回復の比較

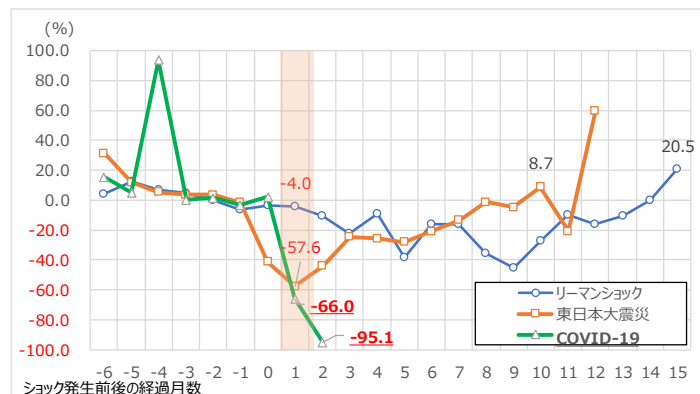


表2 月次訪問率の早期推計表

訪問率		単位:%				
■府県ベース	2020/1	2020/2	2020/3	19Q4	20Q1	
福井県	0.19	0.17	0.16	0.20	0.16	
三重県	0.80	0.80	0.78	0.80	0.78	
滋賀県	0.82	0.82	0.80	0.80	0.80	
京都府	28.09	27.40	27.33	28.70	27.33	
大阪府	38.46	38.22	38.51	39.00	38.51	
兵庫県	6.40	6.53	6.47	6.10	6.47	
奈良県	11.58	11.59	12.22	12.10	12.22	
和歌山県	1.41	1.27	1.13	1.40	1.13	
鳥取県	0.42	0.43	0.45	0.40	0.45	
徳島県	0.41	0.36	0.30	0.40	0.30	

■運輸局ベース	2020/1	2020/2	2020/3	19Q4	20Q1
北海道	6.83	7.71	8.90	6.70	8.90
関東	53.74	53.51	53.04	53.80	53.04
中部	13.14	12.66	12.36	13.80	12.36
近畿	41.88	41.43	41.24	42.30	41.24
九州	9.40	9.75	10.04	9.00	10.04

注: シャドウは実績値

図6 月次訪問率の推移

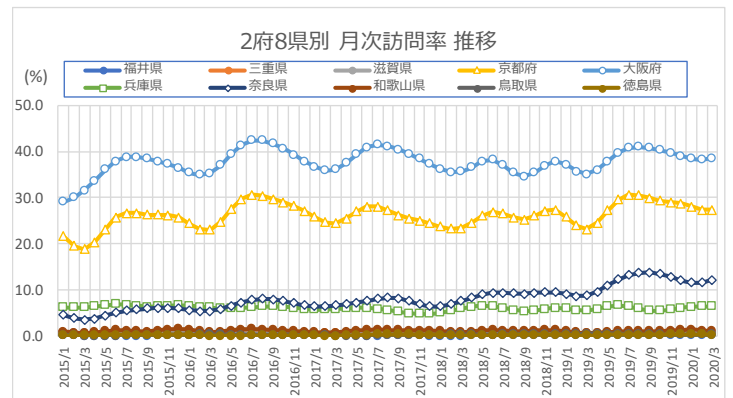


表3 2020年3月 訪日外客数 (JNTO 推計値)

国・地域	総数 Total			総数 Total		
	2019年	2020年	伸率(%)	2019年	2020年	伸率(%)
	3月	3月		1-3月	1-3月	
総数	2,760,136	193,700	-93.0	8,053,797	3,939,800	-51.1
総数(韓国・その他除く)	2,051,354	150,000	-92.7	5,698,299	3,282,400	-42.4
韓国	585,586	16,700	-97.1	2,080,773	477,400	-77.1
中国	691,279	10,400	-98.5	2,169,317	1,022,400	-52.9
台湾	402,433	7,700	-98.1	1,189,760	689,300	-42.1
香港	171,430	9,900	-94.2	505,046	344,900	-31.7
タイ	147,443	4,800	-96.7	347,937	215,300	-38.1
シンガポール	43,687	5,100	-88.3	92,465	54,900	-40.6
マレーシア	50,615	3,300	-93.5	118,674	74,700	-37.1
インドネシア	39,609	7,400	-81.3	96,708	69,600	-28.0
フィリピン	48,277	10,900	-77.4	119,434	104,200	-12.8
ベトナム	47,881	20,800	-56.6	122,633	111,100	-9.4
インド	17,752	1,900	-89.3	39,291	22,400	-43.0
豪州	44,175	8,800	-80.1	172,896	142,600	-17.5
米国	176,564	23,000	-87.0	372,424	213,700	-42.6
カナダ	37,959	6,100	-83.9	84,135	52,600	-37.5
英国	38,610	6,800	-82.4	83,718	49,700	-40.6
フランス	29,408	7,700	-73.8	62,125	41,300	-33.5
ドイツ	28,659	6,500	-77.3	53,401	28,600	-46.4
イタリア	14,956	1,500	-90.0	26,886	13,100	-51.3
ロシア	11,701	5,600	-52.1	23,618	20,700	-12.4
スペイン	8,916	1,800	-79.8	17,831	11,300	-36.6
その他	123,196	27,000	-78.1	274,725	180,000	-34.5

図7 訪日外客数 推移



出所: 日本政府観光局(JNTO)、2020年4月15日付より筆者加工